

事業評価個票（事業実施：平成29年度～令和2年度）

事業名	やまがた森林ノミクス推進事業費						
部局名	農林水産部						
担当課名	森林ノミクス推進課						
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	未設定				
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱2] 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 [政策3] 「やまがた森林ノミクス」の加速化					
	施策	[施策1] 収益性の高い林業の展開 [施策2] 県産木材の付加価値向上と利用促進					
目標指標	①県産木材供給量、②再造林率		①70万㎡(R6)、②100%				
事業の目的	「やまがた森林ノミクス」をさらに加速化させるため、再造林に係る支援制度の創設や県産木材の積極的な利活用により、緑の循環システムの構築を図る。						
事業概要	①やまがた森林ノミクス推進事業 【概要】やまがた森林ノミクスの取組みの推進のため、以下の普及啓発等を行う。 【実施事業】国、市町村、林業関係者・団体等からなる県民会議の開催運営、全国への情報発信や意見交換を行う森林ノミクスセミナーの開催等の実施、SNSによる情報発信 ②山形県青年林業士活動推進事業 【概要】「やまがた森林ノミクス」を支えることが期待される若手の林業従事者や経営者を「青年林業士」と認定し、学生等への技術指導や助言により林業の魅力を発信 【実施事業】青年林業士養成研修会の開催、青年林業士の認定 ③再造林支援制度推進事業 【概要】森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的に発揮する仕組みを構築するため、再造林に要する経費の一部を支援する。 【補助対象等】市町村、森林所有者、森林組合等が行う再造林に対し係る経費の10% ④県産製材品高度化促進事業 【概要】木材供給体制の強化を図るためJAS認証に係る経費を支援 【補助対象等】県内製材業者に対し係る経費の1/2（上限100千円） ⑤やまがたの木づかい運動推進事業 【概要】「しあわせウッド運動※」の展開による県産木材の活用の推進 ※スタート、スクール、オフィス、ライフの4つのライフステージに合わせた「木づかい」を推進 【実施事業】幼稚園・保育園等へ木育用品（積み木）を提供（60施設/年：223提供済）						
	実施方法	■ 直接実施 ■ 委託・請負 ■ 補助 □ 負担 □ 交付 □ 貸付 □ その他 () ①直接実施：事業方針等を検討する協議会を運営するため ②委託・請負：園児への木育を効果的に実施するため ③補助：森林認証や施設の木造・木質化等を側方から支援するため 上記実施方法とする理由：					
当初予算額 (単位：千円)	費目 (予算見積書グループ名)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	やまがた森林ノミクス推進事業	10,992	4,316	4,002	2,411	1,137	
山形県青年林業士活動推進事業	396	397	117	117	117		
再造林支援制度推進事業	40,395	21,655	18,360	16,243	9,699		
県産木材の需要拡大	1,249						
森林認証取得支援事業	568						
林工連携推進事業	216	943	901	855			
県産製材品高度化促進事業	500	500	500	500	100		
公共・民間施設木造化・木質化推進事業	6,197	36,332	35,417	305			
やまがたの木づかい運動推進事業	3,636	3,311	2,860	2,860	2,706		
計		64,149	67,454	62,157	23,291	13,759	
財源内訳 (単位：千円)	国庫支出金	5,618	2,205	2,006	1,207		
	県債		27,000	34,600			
	その他特定財源			375	214	179	
	一般財源	58,531	38,249	25,176	21,870	13,580	
計		64,149	67,454	62,157	23,291	13,759	
活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	高性能林業機械保有台数（累計）	活動実績	台	129	154	191	集計中
		当初見込み	台	133	138	143	150
	再造林率（当該年度の実施率）	活動実績	%	44	53	64	集計中
		当初見込み	%	50	70	85	100
成果指標（所管部局の分析）		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	木材（素材）生産量（当該年度の県全体の生産量）	成果実績	千㎡	489	505	535	549(暫定)
		目標値	千㎡	530	550	570	600
		達成度	%	92%	92%	94%	92%
	成果実績	目標値					
		達成度	%				
活動指標及び成果指標設定の考え方							
高性能林業機械の保有台数は施業の効率化を計る指標として設定。再造林率は県土の保全、地球温暖化の防止などの森林の有する公益的機能の持続的な発揮と森林資源の循環利用を計る指標として設定。木材生産量は、大型集成材工場や木質バイオマス発電所の稼働等による今後の木材需要を基に、本県の木材需給拡大を表すものとして設定。							
事業所管部局による評価・検証（令和3年7月）							
項目		評価	評価に関する説明				
事業の効率性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	A	「やまがた森林ノミクス」の推進は、第4次山形県総合発展計画に位置づけられ、その取り組みを発展、加速化していくこととしている。緑の循環システムの構築にあたっては、市町村域を超えた連携調整が不可欠であり、県として取り組んでいく必要がある。				
	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	A	支出先の選定等については、各事業とも適切に実施している。例えば、再造林については、再造林率100%に向けて森林所有者の負担軽減のため再造林経費を100%補助することとし、民間団体が創設した基金からの支援と連携した仕組みを構築している。				
事業の有効性（達成度）	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A	民間と連携した事業、民間主導の取組みを後押しする事業となっており効果的に実施出来ている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	B	森林資源の循環利用の拡大に向け効率的で低コストな林業の実現につながるものとして、①高性能林業機械の保有台数は目標を上回った。②再造林率は目標は下回ったものの着実に向上してきている。				
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	B	有効的な森林利用の推進により、木材生産量も着実に増加しており、安定的な木材供給についても着実に進んでいる。				
課題・改善点	・高性能林業機械等の活用と路網を組み合わせた効率的な作業システムによる施業の効率化 ・再造林・保育作業の省力化技術の確立 ・事業体の連携体制（サプライチェーン）の構築による製材品の安定的な供給 ・JAS製品や広葉樹材等の付加価値の高い県産製材品の供給						

やまがた森林ノミクスの推進（拡充）

117,256千円

目的

「やまがた森林ノミクス推進条例」(※)に基づき、再造林に係る100%補助及び支援制度の構築や県産木材の利用拡大により、森林資源を積極的に活用し、中山間地域での所得向上や雇用の創出につなげ地域の活性化を図る。

※正式名称：山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例（平成28年12月制定・施行）

事業内容

I 林業及び木材産業の振興

- ① 再造林の推進（新規） 59,460千円
 - ・再造林への支援の強化（100%）
 - ・再造林推進のための検討会の開催
 - ・民間団体による再造林推進のための基金創設への支援など
- ② 森林管理認証取得の推進 1,817千円
 - ・真室川県有林における森林管理認証の取得
 - ・森林管理認証等の取得支援
- ③ 製材品の品質向上・流通拡大（新規） 500千円
 - ・県内製材工場のJAS認定の取得支援
- ④ 公共・民間施設の木造化・木質化の推進（新規） 6,197千円
 - ・民間施設等の木造化・木質化への支援
- ⑤ 県産木材の活用を推進する「しあわせウッド運動」(※)の展開（新規） 3,636千円
 - ・幼児期からやまがたの木に親しむ機会の提供
- ⑥ 人材育成に係る取組み 396千円
 - ・青年林業士の育成
- ⑦ 林工連携の推進（新規） 216千円
 - ・山形県森林資源産業振興協議会（仮称）の設置など

II 森林資源の活用の促進

- ⑧ 山菜・きのこ日本一産地化プロジェクトの推進 33,426千円
 - ・生産基盤の整備、栽培技術の指導など
 - ・SNS等の利用による情報共有・情報拡散
- ⑨ やまがた森林ノミクスの情報発信等の取組み 11,608千円
 - ・フォーラム開催、シンボルマーク等による普及啓発など



※「しあわせウッド運動」とは
 ウッドスタート(幼児期からの木に親しむ機会)、ウッドスクール(学校等における木育)、ウッドオフィス(事業所等における県産木材利用)、ウッドライフ(日常生活での木のある暮らし)の4つの「木づかい」を進めることにより、生涯にわたって、やまがたの木に包まれた「しあわせ」な生活を送ろうという県民運動



やまがた森林ノミクス推進事業費の主な活動実績(R2)について

① やまがた森林ノミクス推進事業 (R2 当初 2,411 千円)	
「やまがた森林ノミクス」の推進に向けた情報発信、関係団体等と課題や情報の共有及び意見交換の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○全国森林ノミクスサミット (やまがた森林ノミクスの取組みの全国発信) →新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止 ○やまがた森林ノミクス県民会議 (9月10日) : 委員 21名参加 (委員 : 国、市町村、関係団体、一般県民) ○普及啓発 : SNSを活用した情報発信を開始
② 山形県青年林業士活動推進事業 (R2 当初 117 千円)	
「やまがた森林ノミクス」を支える人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○青年林業士養成研修会の開催 (2月3日、4日) : 12名参加 ○青年林業士の認定 : 研修会参加者 12名
③ 再造林支援制度推進事業 (R2 当初 16,243 千円)	
再造林経費の100%支援	<ul style="list-style-type: none"> ○再造林に要する経費への支援 : 71ha : 本事業支援分 10% (参考※ 国庫補助事業分 68%、緑環境税支援分 12%、民間基金支援分 10%)
<p>< R2 年度 関連事業 ></p> <p>やまがた森林ノミクス森林管理システム推進事業費 G3 再造林加速化対策事業 (1,899 千円)</p> <p>・再造林率 100%を実現するため、林業事業関係者の連携強化及び課題や情報共有、意見交換等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○再造林加速化対策会議の開催 (3月8日) : 24名参加 ○再造林加速化対策研修会の開催 (3月5日) : 造林、木材生産・流通及び木材加工従事者 50名受講 ○施業提案書、森林経営計画作成支援 : 提案書等作成に必要なデータ計測 (地上レーザ測量機器レンタル経費) 支援 (1台)

やまがた森林ノミクス推進事業費の主な活動実績(R2)について

④ 林工連携推進事業 (R2 当初 855 千円)	
山形県林工連携コンソーシアムの運営	<ul style="list-style-type: none"> ○林工連携コンソーシアム総会・研修会の開催（8月5日） ：50名参加（研修会講師：秋田県立大学木材高度加工研究所 教授 栗本 康司 氏） ○具体的な商品開発に向けた研究会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート林業部会研究会を開催（9月8日） ：93名参加（講師：信州大学森林計測・計画学研究室 教授 加藤 正人 氏） ・新用途開発部会研究会を開催（能代市、10月23日） ：16名参加（視察先：秋田県立大学 木材高度加工研究所） ○メール等で会員約80名へ各種研修会等の情報提供
<p style="text-align: center;">＜R3年度 承継事業＞</p> やまがた森林ノミクス森林管理システム推進事業費 G8林工連携等産学官コラボレーション促進事業（1,400千円）	<ul style="list-style-type: none"> ○林工連携コンソーシアム総会・研修会の開催 ○実証事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート林業の実証 ・新製品、新素材による製品開発等の情報提供
⑤ 県産製材品高度化促進事業 (R2 当初 500 千円)	
公共建築物等の設計ニーズに応え県産 JAS 認証製材品の活用促進に向けて生産・供給体制強化への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○製材 JAS 認証取得支援 ：定額 100 千円 県内製材工場 1 社（置賜）において、県内初となる広葉樹製材 JAS 認証を取得

やまがた森林ノミクス推進事業費の主な活動実績(R2)について

⑥ 公共・民間施設木造化・木質化推進事業 (R2 当初 305 千円)	
<p>民間施設の木造化・木質化の推進に向けて県産木材利用顕彰の実施</p>	<p>○県産木材をふんだんに使用した5施設*に対して顕彰状を授与 ※顕彰施設</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 山形寿地所株式会社 (山形市) 2. 幼保連携型認定こども園 ちとせはぐくみ園 (鶴岡市) 3. 羽陽学園短期大学附属幼保連携型認定こども園 大宝幼稚園 (鶴岡市) 4. ちわら菜の花こども園 (鶴岡市) 5. 特別養護老人ホーム 白光園 (白鷹町)
<p>＜R2年度 関連事業＞</p> <p>○やまがた森林ノミクス森林管理システム推進事業費 G6 県産木材普及促進事業 (5,950 千円)</p> <p>○やまがたの木利用拡大プロジェクト事業費 G4 やまがたの木利用拡大支援事業 (26,000 千円)</p> <p>・県産木材の需要拡大を図るため、「やまがたの木」を利用した住宅等の建築を支援</p>	<p>○県産木材を一定量以上使用した民間施設、フェンスへの支援 ：定額 200 千円 7 棟、2 基</p> <p>○県産木材を一定量以上使用した住宅建築の支援 ：定額 200 千円 128 棟</p>
⑦ やまがたの木づかい運動推進事業 (R2 当初 2,860 千円)	
<p>「しあわせウッド運動※」の展開による県産木材の活用の推進 (※スタート、スクール、オフィス、ライフの4つのステージに合わせた「木づかい」運動)</p>	<p>○幼稚園、保育園等へ県産木材を活用した木育用品(積み木)を提供 ：村山・置賜地域の認可保育所 60 施設</p>

『やまがた森林ノミクス』の推進について～ 地域資源を活用した「やまがた森林ノミクス」で、林業振興・雇用創出、地域活性化 ～

やまがた森林ノミクスとは

先人から受け継いだ山形県の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として余すところなく活用する「緑の循環システム」を構築し、林業の振興を図り、関連産業や雇用創出への経済効果を生み出して、地域全体の活性化につなげていく取組み



◆これまでの経緯◆

- 「やまがた里山サミット」の設立
 - ・地域の森林資源等を積極的に活用し、林業振興、雇用創出等につなげるため、知事と全35市町村長が参画して「やまがた里山サミット」を設立(平成25年11月)
- 「やまがた森林ノミクス」宣言
 - ・同サミットにおいて、知事が地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活かしていく「やまがた森林ノミクス」を宣言
- 「全国森林(モリ)ノミクスサミット」の開催
 - ・「やまがた森林ノミクス」の取組みを全国に発信するため、サミットを開催(平成27年～)
- 「やまがた森林ノミクス推進条例(通称)」の制定
 - ・県民の総参加による森林資源の活用を推進することにより、林業及び木材産業の振興並びに森林の保全を図り、雇用を創出し、地域を活性化することを目的とした条例(「山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例」)を制定(平成28年12月)
- 「やまがた森林ノミクス」シンボルマークの発表(平成30年2月)
- 「やまがた森林ノミクス加速化ビジョン ～第3次山形県森林整備長期計画～」の策定
 - ・「やまがた森林ノミクス推進条例」に即し、社会情勢の変化に対応した本県の森林・林業・木材産業の将来の目指すべき姿と方向性を明らかにした10年間(R3～12)のビジョンを示した計画を策定(令和3年3月)

「やまがた森林ノミクス」室

山形県は、県土面積の約7割が緑豊かな森林に覆われています。この森林に囲まれた里地・里山地域には、豊かな自然に育まれた「食」、「景観」、「文化」、さらには、生産活動の場に加え多面的機能を有する「森林」、「農地」など、多様な資産や資源があります。これらの資産・資源を積極的に活用することで、地域に根ざした産業を振興し、所得の向上や雇用の確保を図り、地域の活性化に結びつけることが課題となっております。

このため、県と市町村が連携してネットワークを形成し、知恵を出し合いながら、地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活かしていく『森林ノミクス』により、オール山形で林業の振興を図り、地域の活性化に取り組んでいくことをここに宣言いたします。

平成25年11月28日

やまがた里山サミット議長
山形県知事 吉村 美栄子



◆「やまがた森林ノミクス」を推進するための施策◆

- 1 多面的機能の持続的な発揮と森林資源の循環利用
 - (1) 多面的機能の高い森林の管理・保全
 - ・森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度の効果的な運用等
 - (2) 県産木材の安定供給の推進
 - ・スマート林業の推進
 - ・適切な林内路網の開設・改良の促進等
 - (3) 主伐・再造林の推進
 - ・花粉が少なく成長と品質の優れたスギ品種への早期転換等
- 2 多様なニーズに即した品質の確かな製材品の安定的な供給・流通
 - (1) 県産木材の加工流通体制の強化
 - ・需要に応じた県産木材の安定的な流通の促進等
 - (2) 県産木材の付加価値向上
 - ・品質の確かな県産木材の製材品の供給促進等
- 3 豊かな暮らしに貢献する幅広い県産木材等の利活用
 - (1) 県内外における県産木材の利用促進
 - ・公共・民間施設の木造化・木質化の推進
 - ・林工連携等による製品・技術開発の推進等
 - (2) 特用林産物(山菜・きのこ等)の振興
 - ・山菜・きのこ等の生産支援、需要拡大
- 4 森林ノミクスを担う人材の育成確保と県民総参加等の推進
 - (1) 林業経営を担う人材育成・事業者の育成強化
 - ・林業経営を担う人材の育成・雇用創出等
 - (2) 森林ノミクスの加速化を支える技術等の開発・普及
 - ・効率的な森林資源の循環利用に向けた技術の開発等
 - (3) 魅力ある地域づくりと木育の推進・参加意識の醸成
 - ・森林資源を活用した魅力ある地域づくり等

◆令和3年度の主な取組み◆

- ICTの活用による森林情報の高度化・共有化
 - ・航空レーザ測量による森林・地形情報の精度向上やリモートセンシング技術等の活用に向けた実証
 - ・クラウドシステムへの森林情報集積等
- 森林の適正な管理に向けた体制整備
 - ・森林管理システムを推進する市町村への支援等
- 再造林の推進
 - ・再造林の経費支援、事業者連携への働きかけ等
- 公共・民間施設の木造化・木質化の推進
 - ・公共施設建築に係る県産材供給体制構築の支援
 - ・非住宅民間建築物の建築支援等
- 県産木材の活用を推進する「しあわせウッド運動」の展開
 - ・保育所等への県産木材の積み木を配布
 - ・日用品の木製化への支援等
- 林工連携の推進
 - ・山形県林工連携コンソーシアムによる研修会、研究会等の開催
- 普及啓発・情報発信等の取組み
 - ・森林ノミクスセミナーの開催
 - ・SNSを活用した情報発信等



数値目標：木材(素材)生産量(年間)

54万㎡(R1)



70万㎡(R6)

平成28年度全国知事会優秀政策

全国知事会では、都道府県同士が先進的な取組みを提案・共有し合う「先進政策バンク」を設置しており、毎年登録政策の中から優秀政策を選定している。本県が登録した『やまがた森林ノミクスの推進』が約3,400件の登録政策から優秀政策に選定(平成28年9月)